佳ちゃんの部屋vol.22
〜実は視力抜群！植松さん〜

佳ちゃんの部屋へようこそ。今回は企画営業部の植松さんです！いつもメガネをかけている印象の植松さんですが、実は視力はとってもいいのだとか.....！今回は学生時代の部活や最近の趣味などについてお聞きしました。

名前：植松遥
あだ名：うえまっちゃん、はるぽん、ぽんちゃん
出身地：東京都狛江市
誕生日：6月19日

人物像

——あだ名ポンちゃんってもう、原型ないじゃん（笑）

大学時代の先輩とかから、"はるぽん"から派生して"ぽんちゃん"って呼ばれてました（笑）

——出身は狛江市なんだ。

そうです。でも今は家族で引っ越して鷺沼に住んでます。

——ノットに入る前は1年社会人経験があるんだよね。

そうです。ノットの同期は荒木さん、城戸崎さん、渡辺くん、藤原くんですけど、年齢は阿部もさんとか村井さんとかと一緒の代です。小原さんとはプライベートで遊んだりします。

——その代の中でもなんか落ち着きあるよね！

よく言われます。前職の時もそう言われてました.....なんでですかね！？でもやっぱり他の同世代はキラキラしてる印象があるんですよ。素で楽しそうにしてる感じが素敵だなと思いつつ、自分はそこに合わせるためにギアをあげないといけないのは事実です（笑）

——いつもメガネしている印象だけど、本当は視力いいんだね。

視力は1.5以上あります！メガネはブルーライトから目を守るためにかけてます。絶対に視力だけは落としたくないと思って。あとは仕事モードになるためのスイッチの役割もあります。

——部活は？

ずっとバレーボールをやってました。小3の頃から4年間、ビーチボールっていう富山県発祥のスポーツをやっていて、中学に入学してからバレーボール部に入りました。ポジションはライトと、セッター代理です。

——大学生の時はピザーラでバイトしてたんだね。

4年間ずっとやってました。クリスマスとかお正月は繁忙期で、基本、家族とは過ごせませんでしたね。シフトは朝8時から夜12時まで入ったりしていて、社員と間違われたこともあります（笑）

——人生のターニングポイントは？

やっぱりバレー部の頃の経験ですね。部員が40人いる中で、ボールを触るのが1軍メンバーの7人だけみたいな世界だったんです。そこに入れないメンバーはサポートに入ることが多くて、ボールに触れるのって練習終わりのから体育館が閉まるまでの30分だけみたいな世界だったんですよ。でもぼーっと突っ立ってるだけというのは性格的に嫌だったので、この環境の中でどうやったら自分のこと活かせるかなって考えて行動したりしていました。
体力、メンタル面はそこで鍛えられ始めたなって思ってます。

最近のこと

——趣味は？

人間観察が趣味です。例えば電車でも、携帯いじらずにボーっと外にいる人とか見ちゃいます。よく街中の芸能人を見つけるタイプです。趣味というか、癖に近いかもしれないですね。人の顔と名前を覚えたりするのも得意です。
あと「モルック」がマイブームです。木の棒を並べて、それを3メートルくらい離れたところから投げて倒して点を取っていくフィンランド発祥のゲームですね。

——直したい癖や習慣は？

人間観察の癖が故に、相手をめちゃくちゃ見てしまうところです.....。あとは一度寝たら、起こされても起きないことです。横になったら最後で絶対寝てしまうので、リビングで横になるたびに家族に怒られたりしてます。

——これからやってみたいことは？

コピー提案とか、データ分析をやってみたいです。知識を得るだけではなくて、そこからもっと深くデータを取れるように勉強していきたいです。

植松さんのマイブーム「モルック」ですが、なんと企画営業部の渡辺くんが日本代表？全国大会に出るほどの腕前なんだとか！ぜひ社内でもみんなに広めていって欲しいですね。

次回は企画営業部の光田さんです！お楽しみに。